

# 「パタパタおみみのおさんぽエマ（歩かない）」の修理

2021.11.27  
生駒の田中

## 1. 特徴

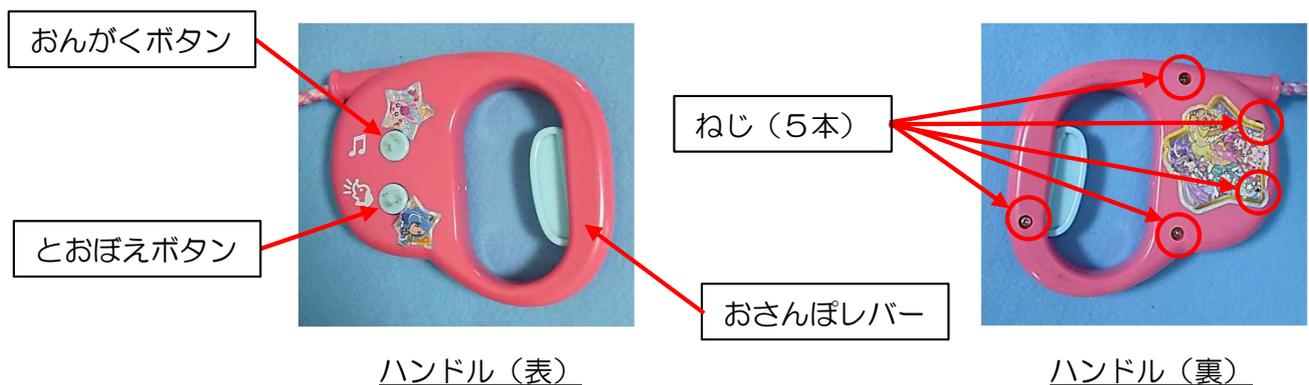


- ・イワヤ製の「パタパタおみみのおさんぽエマ」は、ハンドルリモコンで操作すると音楽に合わせて耳をパタパタさせたり、尻尾を振りながらトコトコと歩く犬のぬいぐるみです。

- ★「おさんぽレバー」を握るとしっぽをふって歩きます。
- ★「おんがくボタン」を押すと音楽に合わせて耳をパタパタとさせて歩きます。
- ★「とおぼえボタン」を押すと耳をパタパタさせて遠吠えします。
- ★頭をなでると耳をパタパタさせて喜びます。

## 2. 故障内容

- ・今回の故障はハンドルリモコンのおさんぽレバーを握っても歩かないという内容でした。
- ・ハンドルリモコンにある音楽ボタンやとおぼえボタンは押すと正常に動作しました。



## 3. 修理の方法

### 3-1. ハンドルの分解

- ・ハンドル裏の5本のねじを抜いてハンドル内の「おさんぽレバー（スイッチ）」の接触不良や断線が無いかを調べましたが、特に異常は見つかりませんでした。



ハンドル (内部)



- ・基板上の配線には断線等の異常なし

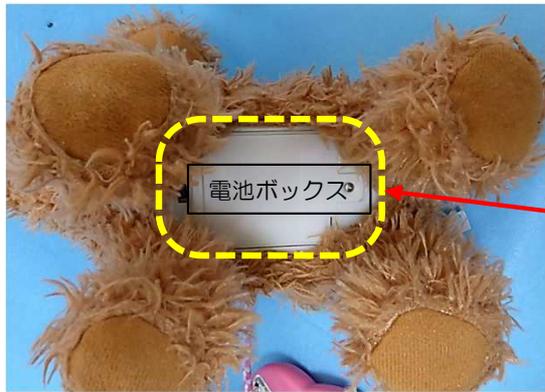


- ・おさんぽレバー（リーフスイッチ）には異常なし

### 3-2. 本体の分解

- 体内を調べるため、ぬいぐるみを剥がします。

このぬいぐるみの場合は、電池ボックス周りの接着（グルー）を剥がすだけで脱がすことが出来ました。（縫い目の糸は切らずに済みました）



周囲の接着を⊖ドライバーなどの先を使って剥がす

- 脚などの部品を折らないように片脚ずつ抜いて、ぬいぐるみを首のところまで剥がします。



- 胴体の内部を調べるには、胴体の左側面にあるねじを外し駆動部を覆っているカバーをはずします。胴体カバーを止めているねじは、下の写真の5本のねじの他に頭部と胴体をつないでいる連結部（首輪）の奥にも1本あるので、首輪を止めている2本を外し首輪を先に抜く必要があります。



頭部と胴体をつないでいる首輪

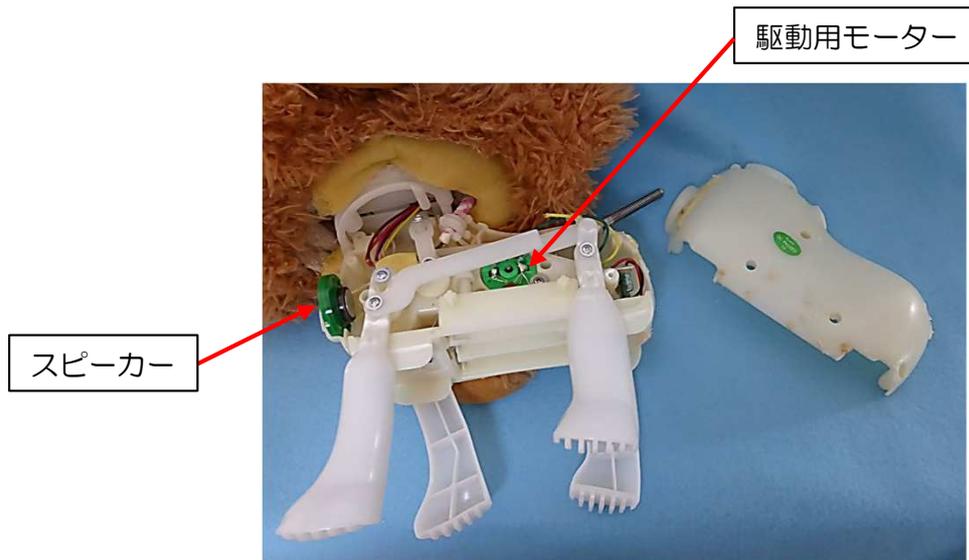
首輪を止めているねじ

首輪の奥にあるねじ

胴体カバーを止めているねじの位置

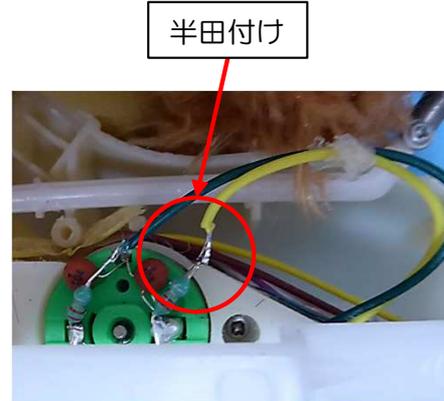
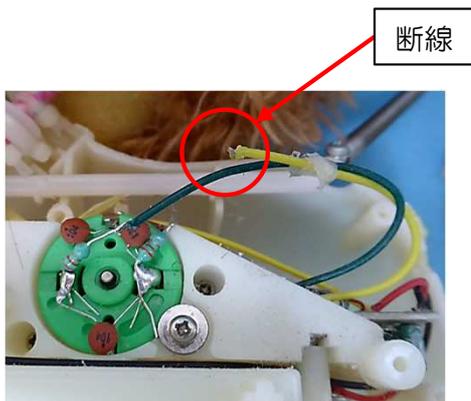
### 3-3. 胴体内の駆動部品を調べる

- 胴体のカバーを外すと内部に駆動部（モーターの入ったギアボックス）やスピーカーが見えます。



### 3-4. 故障部の修理

- 胴体カバーを開いた状態で直ぐに黄色の線が外れているのが見つかりました。この断線が原因で駆動用のモーターが回らなかったようです。
- この線の先をモーターから出ている抵抗の端に半田付けしました。



### 4. 修理完了（完成）

- 断線部の半田付けが済んだら「おさんぼレバー」を握って正常に動作することを確認しました。
- 後は、分解した逆の手順で組み立て めいぐるみも元の状態にグルーで接着したら修理は完了です。

